

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和7年度 浚渫土砂の新たな活用方策検討業務
業 務 概 要	本業務は港湾工事において発生する浚渫土砂に着目し、海域の環境改善に資する新たな活用方策を検討するものである。
契 約 担 当 官 等 の 氏 名 並 び に そ の 所 属 す る 部 局 の 名 称 及 び 所 在 地	支出負担行為担当官 中部地方整備局副局長 中原 正顕 名古屋市中区丸の内二丁目1番36号 NUP・フジサワ丸の内ビル
契 約 年 月 日	令和7年9月5日
契 約 業 者 名	一般社団法人 水底質浄化技術協会
契 約 業 者 の 住 所	東京都中央区入船三丁目10番9号
契 約 金 額 (税 込)	¥9,746,000.-
予 定 価 格 (税 込)	¥10,307,000.-
随 意 契 約 に よ る こ と と し た 理 由	別紙のとおり
業 務 場 所	—
業 種 区 分	建設コンサルタント等
履 行 期 間 (自)	令和7年9月5日
履 行 期 間 (至)	令和8年2月27日
備 考	

随意契約理由書

1. 業務名 令和7年度 浚渫土砂の新たな活用方策検討業務

2. 選定理由

伊勢湾再生行動計画（第二期）（平成29年6月）において、伊勢湾の環境を改善するためには、「生物生息場となる干潟、浅場、藻場の再生・保全」、「流入負荷量の適切な設定・管理」が重要であると位置づけられている。港湾事業において深掘跡地の埋戻しや覆砂などを進めているが、本件について更なる取組が求められている。

本業務では、港湾工事において発生する浚渫土砂に着目し、海域の環境改善に資する新たな活用方策を検討するものである。

本業務の手続きとしては、「プロポーザル方式」を採用することとし、公募により参加表明があった者で資格を満たした者から技術提案書を求め、「担当技術者の経験能力」「業務の実施方針・業務フロー・工程計画等」及び「特定テーマに対する技術提案」について、提出された技術提案書の記載内容と担当技術者へのヒアリングにより評価を行った。

審査の結果、「一般社団法人 水底質浄化技術協会」を契約の相手方として特定した。

よって、会計法第29条の3第4項並びに予算決算及び会計令第102条の4第3項の規定により、「一般社団法人 水底質浄化技術協会」と随意契約するものである。

プロポーザル評価表

1.件名

令和7年度 浚渫土砂の新たな活用方策検討業務

2.所属事務所

港湾空港部

3.技術提案書の特定通知日

令和7年8月25日

業者名	技術評価点の内訳			技術評価点 合計	備考	摘要
	配置予定技術者の 経験及び能力	実施方針・実施フロー・ 工程表・その他	特定テーマに対する 技術提案			
評価のウェート	80	80	160	320		
一般社団法人 水底質浄化技術協会	74.00	60.00	130.67	264.67		特定

※合計値において四捨五入のため、各項目の合計とは整合しない場合がある。